

# 研修会のご案内

「急性冠症候群後低心機能」や「高齢心機能低下者とどのように向き合うか」を考える！

－ 医療の領域でも、介護の領域でも生活の質に影響する『心不全』－  
これからの「少子・多高齢者時代」に理学療法士として求められるスキル  
皆さんと共に、高橋哲也先生から学びたいと思います！

『心不全(の病態)を知る, 心不全のリハビリテーションを学ぶ研修会』

講 師：高橋 哲也先生

順天堂大学保健医療学部理学療法学科 教授

日本心臓リハビリテーション学会副理事長

日 程：令和7年3月9日(日) 10:00～16:10

会 場：たつの市立御津公民館 文化ホール

【たつの市御津町苅屋356番地 TEL(079)322-4501】

テーマ：講義① 循環器疾患のとらえ方、実際にどう進めていくのか

講義② 現場で活かすフィジカルアセスメント

講義③ 古くて新しい概念HADとレジスタンストレーニング

参加費：2,000円（当日会場でお支払いください）

※申込方法は、下記メールアドレスに『心不全, 氏名と所属』を記載して送付してください  
申込受け付けは先着順です。受付後、プログラムや会場案内図をお知らせ致します。

E-Mail : [tokimoto@pro.odn.ne.jp](mailto:tokimoto@pro.odn.ne.jp)

研修会 『心不全(の病態)を知る, 心不全のリハビリテーションを学ぶ』  
令和7年3月9日(日) 10:00 ~ 16:10

講義1 10:00 ~ 12:00(120分)

循環器疾患のとらえ方、実際にどう進めていくのか

昼食休憩 12:00 ~ 13:00 各自準備のこと

講義2 13:00 ~ 14:30(90分)

現場で活かすフィジカルアセスメント

講義3 14:40 ~ 16:10(90分)

古くて新しい概念HADとレジスタンストレーニング

※『HAD：入院関連能力低下(Hospitalization-Associated Disability)』は、高度急性期・急性期医療機関のリハビリテーションの在り方に警鐘を鳴らすものです。

一方で、回復期・生活期リハビリテーションの場面においても高齢者の中に潜んでいる「心機能低下状態」に適切な評価の元で運動負荷をかけて『基本的動作能力の改善』を図らなければなりません。

また、ひたひたと迫り来る「心不全パンデミック」にも対応できるようリハビリテーションの視点で準備していかなければならないと考えます。

※興味をお持ちでしたら、ご参加ください。

企画・運営 龍野中央病院  
時本 清己

E-Mail : tokimoto@pro.odn.ne.jp